

今年の秋はシャッターチャンスがいっぱい

大津祭写真コンクール

平成23年10月8日(土)・9日(日)

大津祭は、江戸時代初期にはじまり、元禄・安永年間に現在の曳山がととのえられました。9日の曳山巡行には、ゴブラン織り（重要文化財指定あり）や装飾金具に飾られた13基の曳山が、中国の故事や能・狂言を題材にしたカラクリを披露しながら市内を巡行し、いにしえの大津町衆の心意気を御覧いただけます。

- 10月2日(日) 8:30~15:00 山建て(曳初め)
 - 10月8日(土) 13:00~21:00 宵宮
 - 10月9日(日) 9:00~17:30 本祭
- 天孫神社周辺
(大津市京町三丁目)
JR大津駅より徒歩3分

作品募集

- 作品規格 カラー及び白黒プリント(A4判以上全紙まで)
- 応募資格 制限なし
- 締切 平成23年11月9日(水)
- 審査 11月下旬に全日本写真連盟と関係団体が実施する。
- 発表 11月下旬
- 表彰式 発表後受賞者に別途通知する。
- 送り先 〒520-0055 大津市春日町1-3 JR大津駅2F
社びわ湖大津観光協会(☎077-528-2772)
- 問合せ先 同上
- 展示 大津祭曳山展示館(12月下旬から1月中旬予定)
- 応募規定
 - ①応募作品は本人が本年中に撮影したもので未発表のものに限る。
 - ②組写真の場合は3枚以内(各1枚の大きさはA4版以上全紙までで、3枚以内の合わせた大きさは180cm×90cm以内)の組とする。ただし、レイアウトを別紙で指示し、テープ等でとめて固定すること。
 - ③応募点数は自由とし、組写真は1点とみなす。
 - ④1点ごとに自作の応募票を写真の裏面に貼付けのこと。
 - ⑤入賞作品の使用権は主催者側に属します。
 - ⑥応募作品は返却いたしません。
 - ⑦入賞作品のフィルム、デジタルデータ(CD-R)は通知次第提出して下さい。
 - ⑧画像の加工(合成や削除等)は認めません。
 - ⑨肖像権及び被写体の著作権をめぐる一切の責任は応募者にあります。
 - ⑩入賞者は、氏名、住所(番号は非公表)を新聞紙上等で公表いたします。
- その他 撮影するにあたり、祭行事の支障とならないようご注意下さい。

主催 社びわ湖大津観光協会
全日本写真連盟滋賀県本部

後援 大津市・朝日新聞社

協賛 社びわこビジターズビューロー
特定非営利活動法人 大津祭曳山連盟
滋賀県写真連盟・大津写真連盟

賞

- 推薦(1点) 社びわ湖大津観光協会会長賞(賞状及び賞金10万円)
大津市長賞(賞状及び賞品)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
- 特選(3点) ①大津市議会議長賞(賞状及び賞金1万円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
②社びわこビジターズビューロー会長賞(賞状及び賞金1万円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
③特定非営利活動法人 大津祭曳山連盟理事長賞(賞状及び賞金1万円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
- 準特選(3点) ①滋賀県写真連盟賞(賞状及び賞品)
社びわ湖大津観光協会賞(賞金5千円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
②大津写真連盟賞(賞状及び賞品)
社びわ湖大津観光協会賞(賞金5千円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
③社びわ湖大津観光協会賞(賞金5千円)
全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び盾)
特定非営利活動法人 大津曳山連盟賞(賞状及び商品)
- 入選(30点) 全日本写真連盟・朝日新聞社賞(賞状及び賞品)
- 佳作(若干点) 特定非営利活動法人 大津祭曳山連盟賞(賞状及び賞品)

◎下記の見本の様な応募票を写真の裏に貼付けて応募下さい。

(見本)

(平成23年度)大津祭・写真コンクール応募票			
題名			
住所	〒		☎
氏名			男女 才
カメラ	レンズ		
絞り	シャッター		
フィルム	印画紙		
取扱材料店名			

●このチラシは公正取引委員会の指導に従い作成いたしました。

大津祭

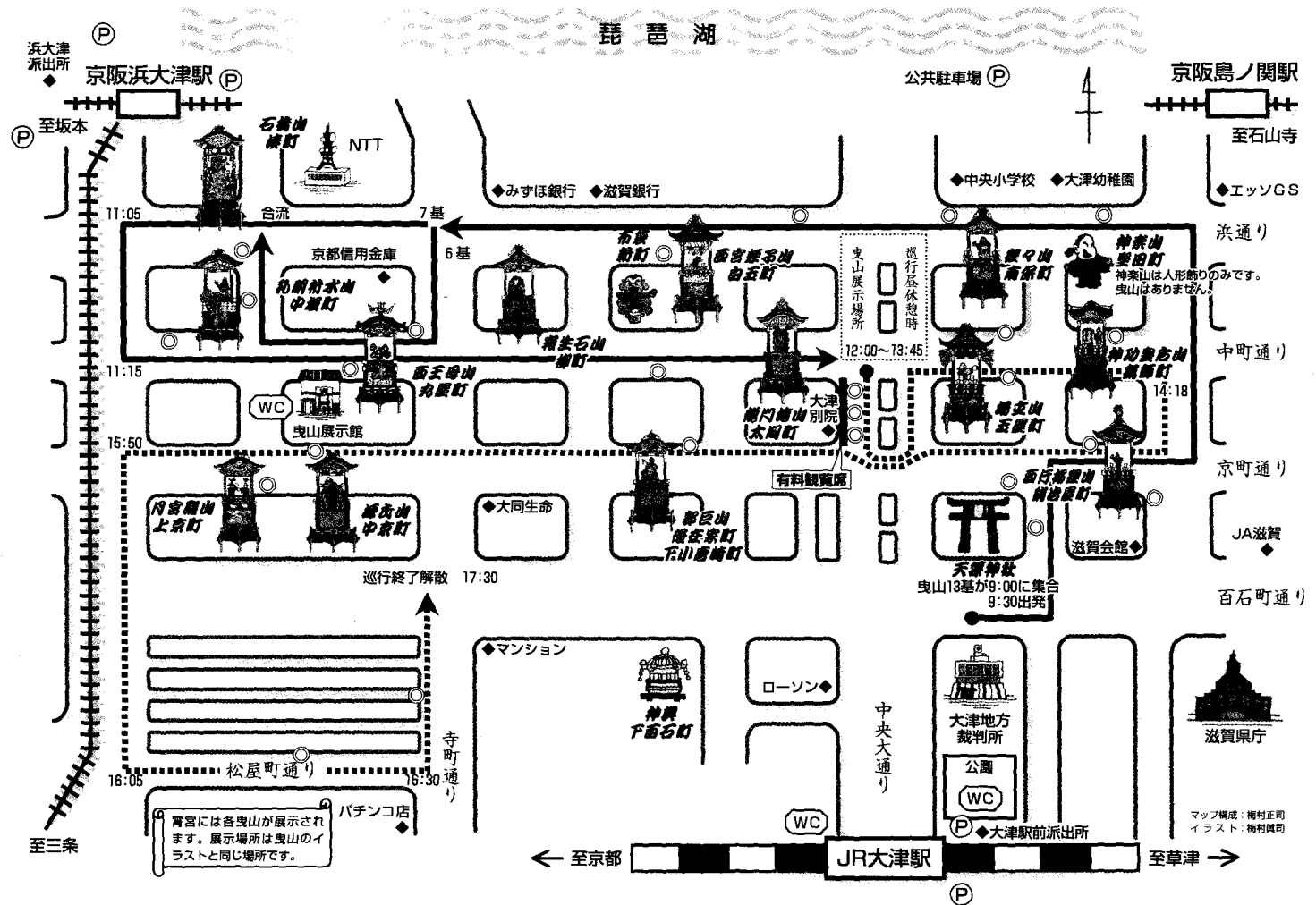
平成23年10月8・9日

大津祭は江戸時代はじめ、鍛冶屋町塩売治兵衛が狸面でおどったことからはじめられたとされているが、寛永十五年（一六三八年）からは三輪の曳山をつくり、やがて元禄、安永年間に現在の曳山がとこのえられた。

十月九日にはコブラン織や装飾金具にかざられた十三基の曳山が市内を巡行するが、これは江戸時代の大津の経済力を象徴するもので、同時にこの祭をささえてきた大津町衆の心意気を示すものである。

大津祭の特色のひとつに曳山それぞれにとり入れられているカラクリがある。カラクリの題材は中国の故事や能・狂言からとったもので、文化水準の高さが理解できる。このカラクリは巡行中「所望」の場所でおこなわれる。

八日の宵宮では曳山から「コンコンチキチン」の祭はやしが夜空にひびき、無数の提灯にうかびあがった曳山は優雅で美しい。九日の本祭とは一味ちがった祭をたのしめる。



印は10月8日宵宮での曳山展示場所
 10月9日の曳山巡行路 (時間は多少変わることがあります)
 印は所望場所(10月9日)ここでカラクリがみられます